

2) 感染症

国名	プロジェクト名	期間	
		開始年月日	終了年月日
1. 中国	予防接種強化プロジェクト	2000/06/01	2005/05/31
2. パキスタン	拡大予防接種計画・ポリオ根絶構想支援	2001/07/23	2005/08/18
3. ミャンマー	主要感染症対策プロジェクト	2005/01/19	2010/01/18
4. ジンバブエ	マシング州HIV母子感染予防プロジェクト	2005/11/15	2008/11/14
5. タイ	マヒドン大学熱帯医学部・国際寄生虫対策アジアセンターアドバイザー	2006/03/06	2008/03/05

感染症対策は多くの途上国で最も優先度の高い保健課題であり、まさに国際保健の中核をなす。近年では感染症対策は開発のための必要条件とも考えられるようになっている。またSARS、トリインフルエンザ、そしてHIV/AIDSで明らかなように、感染症は直接・間接にわが国へも脅威をもたらすことは重要な点である。そこで、グループでは、効率よく確実に疾病予防のできる予防接種対策の強化、とりわけポリオの根絶事業や、緊急の問題として対策を急がれるHIV/AIDS対策、さらに寄生虫、ハンセン病、結核対策などを継続的に支援している。また、感染症対策における社会技術開発を研究課題とし、感染症アウトブレイク、ワクチン予防可能感染症、HIV/AIDS、性感染症、結核、マラリア、ハンセン病等に対応出来る社会作りを効果的に支援出来るような努力を行った。内容としては、予防、治療及びケアを効果的に供給する技術と、それらを実施するための戦略開発を相手国側と協力して行い、実際にそれらの戦略を実施して現場の能力を高める活動を行い、それらの評価や教訓を対象国政府や日本を含むドナー国政府や機関に提言した。具体的には以下の通りであった。

1. ODA案件の調査団への参画（技術協力プロジェクト、無償資金調査、プロジェクト形成、運営指導など）
2. 専門家派遣：支援しているプロジェクトは表に示す通りである。
 - (1) 中国とパキスタンにおけるワクチン予防可能感染症対策事業（ポリオ根絶を含む）の実施とWHOのEPI担当官（ベトナム）への人材派遣。
 - (2) ミャンマー、ジンバブエにおけるHIV/AIDS対策事業の実施
 - (3) タイをベースとしメコン5カ国における学校保健を通じての寄生虫対策の促進
 - (4) ミャンマーにおけるハンセン病後遺症対策の強化
 - (5) WHOの結核担当官（パキスタン）への人材派遣

(6)インドネシア地震災害に対する緊急援助隊への参加

3. 国際会議の企画と主催及び出席を通じた情報の収集

- (1)厚生労働省主催「ASEANエイズワークショップ2005」の企画と運営
- (2)ワクチン予防可能疾患に関する対策（中国貴州省、青海省の未登録人口へのEPIサービスの実施）企画と運営
- (3)EPIに関するWHO・WPROのTAG meeting, UNAIDS PCBに参加

4. JICA/JOCVに対する技術支援

- (1)JOCVエイズ対策隊員支援委員/JOCV技術専門委員
- (2)JICA課題別支援委員（HIV/AIDS）
- (3)プロジェクト支援国内調整

5. 研修の企画と実施

- (1)開発途上国感染症等専門家養成研修（日本人の人材育成）
- (2)感染管理者養成研修
- (3)国立看護大学校、「感染症と国際協力」実習

6. 調査・研究

- (1)国際医療協力研究委託費などによる調査・研究の実施
- (2)調査・研究の成果を学会発表や論文などを通じて発信

7. 大学や研修コースへの講師派遣